

**福祉の学習について、あなたのまちの社協にご相談ください。  
きっと、何か応えてくれるはずです。**

◎函館市立万年橋小学校が実施した「ノーマリー教室」は、誰もが自立した生活を送ることができる環境を作っていく「ノーマライゼーション」の理念を理解してもらうため昭和62年度から函館市社協が実施しているものです。社協と学校が協力して体験学習の企画を考案。社協では職員が講師を務めるほか、ゲストティーチャーの紹介や疑似体験セット、車椅子、アイマスクの貸し出しなども行っています。また、社協では「ノーマリー教室・福祉教育懇談会」を開催。市内学校関係者、町内会関係者等が参加し、各学校の取り組みを知り、福祉教育の進め方の情報交換などを行っています。

◎北海道釧路東高等学校の生徒が参加した「ボランティア入門講座」は、釧路町社協が、ボランティア活動の裾野を広げるために地域住民向けに開催しているものです。生徒が参加する時は、生徒が参加しやすい日程と内容になるように事前に社協が学校と調整をしています。学校にとっては、講座がボランティア同好会の活動の幅を広げるための一助となっています。町民と生徒が共に参加することにより、学校と地域住民とのつながりができ、地域住民にとっても学校を知る良い機会になっています。

☆道内の多くの市町村社協が福祉の学習支援の取り組みを進めています。取り組みの内容は社協により異なりますが、福祉の学習のことでお困りのときは、社協に相談されてみてはいかがでしょうか。

**<道内社協の主な取り組みの状況～平成24年度市町村社協基本調査より～>**

車椅子の貸し出し	138社協	見学先の紹介や調整	80社協
関係機関との連絡調整	88社協	社協職員による授業	59社協
ボランティア協力校の指定※	87社協	当事者支援者の紹介調整	59社協
カリキュラム共同作成	83社協	疑似体験セットの貸し出し	41社協

※北海道社会福祉協議会で指定したものは除く。

☆北海道社会福祉協議会でも福祉の学習支援の取り組みを進めています。(詳しくは北海道社会福祉協議会ホームページをご覧ください。)

**学童・生徒のボランティア活動普及事業**

各市町村社協の推薦・協力を得ながらボランティア協力校を指定し、福祉の学習やボランティア活動の推進を図るために経費の助成を行います。これまでに指定を受けた約1,500校は、「体験学習」や施設訪問などによる「交流活動」を通じ、それぞれ特色ある福祉の学習を推進し成果を上げています。なお、市町村社協が独自にボランティア協力校を指定し、助成している場合もあります。

**全道福祉の学習推進セミナー**

学校関係者、福祉関係者、地域の方など、福祉の学習に関わる方々が集い、これからの福祉の学習をすすめる上で大切となる視点や発想、地域の資源のつながりなどを学び、地域ぐるみで福祉の学習を推進するための企画力や実践力の向上を図ることなどを目的としたセミナーです。

**北海道社会福祉協議会 北海道ボランティア・市民活動センター**

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1 北海道社会福祉総合センター

Tel 011-271-0683 Fax 011-271-3956

北海道社会福祉協議会ホームページ <http://www.dosyakyo.or.jp/>

●あなたのまちの社会福祉協議会(社協)はこちらです。



○お手伝いできること



**学習指導要領の改訂により**

**福祉の学習**を学校教育の全領域にわたって展開する時代となりました。

**私たち社会福祉協議会＝社協**は、身近な地域の福祉を推進し、

**福祉で地域を元気にしていく**取り組みを行っています。

**子どもたちも立派な地域の一員**です。

**私たち社協は、学校、地域の人たち、子どもたちと一体**となり、

**協力しあいながら、福祉の学習を進める**ことで、

**差別や偏見がなく、人々が思いやりを持ち、お互いに支え合える**ような、

**住みよい地域**を作っていきたいと考えています。

**社会福祉法人 北海道社会福祉協議会  
北海道ボランティア・市民活動センター**



北海道内  
社会福祉協議会  
イメージキャラクター

**ほっとちゃん**

内側の面は、児童・生徒さんたちに福祉への関心を持っていただくためのメッセージです。校内に掲示いただくなど、児童・生徒さんたちの意識啓発のためにご活用ください。(小学校高学年～高校生を対象に作成しました。)

ぼくたち、わたしたちも地域の一人だけど… 地域福祉って何のこと？  
わたしたちの住む まち=地域 のために、わたしたちができることってあるのかな？



福祉を学んでみよう!!

**函館市立万年橋小学校“ノーマリー教室”**

函館市立万年橋小学校では、学年ごとに実施される“ノーマリー教室”により、福祉やボランティアへの意識が高まっている。函館市社会福祉協議会の職員と先生たちが協力して作ったプログラムに基づいて、手話、点字、車椅子体験などを行い、障がいのある人も、ない人も「みんなが共に生きる社会」となるように、「思いやり」や「いたわり」について学んだ。

みんなも体験の先にある「みんなが共に生きる社会」について考えてみよう。

**北海道釧路東高等学校 “ボランティア入門講座への参加”**

釧路町社会福祉協議会では、ボランティア活動を広げるために地域の人たちを対象とした「ボランティア入門講座」を開催している。北海道釧路東高等学校では、生徒たちが町民とともに講座に参加し、東日本大震災の被災地支援を行ったボランティアの方のお話などを聞き、今自分たちにできることは何かを学んだ。生徒たちは、地域の大人たちとのつながりもでき、改めて地域の一人としての自覚を持つことができた。

みんなも自分の地域の学びの場を探してみよう。社会福祉協議会が力になるよ!

きみたちのまちの社会福祉協議会(社協)

できることがあります!!  
みんなでできる地域福祉があります。

その1 「地域の支え合い」 お年寄りや障がいを持った方たちを地域の人々で見守り、支える。 きみたちも支えるひとりだ!



その2 「共に支えあうまちづくり=ノーマライゼーションの推進」



その3 「災害の時の支え合い」



このパンフレットは赤い羽根共同募金の助成金でつくりました。